

家庭語調査

ご両親/保護者の皆様へ:

家庭語調査 (HLS) の目的は、生徒の第一言語または家庭で使用されている語を特定することです。この情報は、学校がすべての生徒に有意義な指導を行うために不可欠なものです。HLS は、全ての生徒が成功する法 (ESSA) のセクション 3113 (b) (2)、703 KAR 5:070 および関連する[特定年齢層の包含に関するガイダンス](#)で求められる州全体での識別プロセスの一部です。

HLS は、英語学習者である可能性のある生徒を特定する最初のスクリーニングプロセスとして、幼稚園児から12年生までのすべての生徒に、学区への最初の入学時に実施されなければなりません。HLS は、幼稚園児から12年生までの入学時に1回だけ実施され、生徒の累積記録に残ります。

なお、調査への回答は、生徒に特有のものであります。以下の必要な調査設問のいずれかに英語以外の言語が記録されている場合、学区は、お子様が言語サポートを受ける資格があるか判断するために、お子様のさらなる評価を行う法的義務があります。

回答が、法的地位の決定や移民目的に使用されることはありません。お子様が英語サービスの対象と認定された場合、保護者は、お子様に提供されるサービスの一部または全部を拒否できます。

HLS の記入方法についてご不明な点がございましたら、お子様の学校にお問い合わせください。

生徒情報 (必須) :

氏名: _____ 学年: _____

生徒の言語背景 (必須) :

1. ご家庭で最もよく使われている言語は何ですか? _____
2. お子様が最初に話し始めたとき、どの言語を覚えましたか? _____
3. お子様が家庭で一番よく話す言語は何ですか? _____
4. お子様が一番よく話しかける言語は何ですか? _____

学校のコミュニケーションのための言語 (必須ではありません) :

5. すべての学校情報をどの言語で受け取ることを希望しますか? _____

両親/保護者の署名: _____ 日付: _____

ここに署名することで、上記の4つの必須質問への回答が、生徒に特有のものであることを証明します。英語以外の言語が特定された場合、生徒が英語を流暢に話せるようになるための言語サポートサービスを受ける資格があるかを判断するテストが行われることをご理解ください。言語サポートサービスを受ける資格のある生徒は、英語学習者としてのサービスを受けることができ、ESSA 1111(b)(2)(G)で定められているように、英語力を判定するためのテストを毎年受けることになります。

校内使用のみ

HLS を実施して説明した学校関係者および英語以外の言語が特定された場合に生徒を英語能力開発プログラムに参加させる。

氏名: _____ 日付: _____